

■食品部会カテゴリ別分科会

5～7月、水産品関連生産者を対象としたお魚会議が、全国を4ブロックに分けて開催されました。延べ57名の方からでいっしゅぼーや本社会議室へお集まりいただきました。

お魚会議日程・参加人数

- ① 5月31日 北海道・九州編 12名
- ② 6月21日 東北・四国編 19名
- ③ 7月5日 関東・中国編 13名
- ④ 7月19日 中部・関西編 13名

今後も各カテゴリごと2週間おきに開催していきます。共通した話もありますので、ご自分のカテゴリで参加できなかった方は、らでいっしゅぼーや担当もしくはRadixの会事務局へご相談ください。(鈴木)

■農産部会地域ブロック集会 自主基準会議開催

地域ブロックごとに集会を開催し、今年度の活動計画報告、自主基準作成のご提案をさせていただきました。延べ参加団体103団体、参加生産者数332名。

開催日・ブロック(開催場所)・参加団体数、参加人数

- ① 6月2日 WEST(和歌山) 16,47名
- ② 6月29日 東北(山形) 12,21名
- ③ 6月30日 北海道(札幌) 17,26名
- ④ 7月7日 中部(愛知) 13,23名
- ⑤ 7月13日 九州(熊本) 11,54名
- ⑥ 7月19日 関東(東京) 13,46名
- ⑦ 7月20日 関東(埼玉) 13,97名
- ⑧ 7月28日 東北(宮城) 8,18名

全ブロックで自主基準作成のご賛同をいただきました。新しい自主基準は12月1日までに作成して頂く予定です。今後FAXを使い、作成スケジュー

ール・進捗状況などを確認しながら進めていきたいと思っております。以前の自主基準集(第1～3集)の在庫(数に限りがあります)および個々の自主基準データ、集会議事録がございます。ご活用いただける方は事務局までご連絡ください。(鈴木)

■産地交流イベントの助成を行ないます!

毎年各地で行なわれている「らでいっしゅぼーや産地交流イベント」。多くのRadixの会会員さんからも「参加者を楽しんでもらおうとついばかりすぎて」足が出てしまった…という声も聞かれていました。Radixの会ではこれらのイベントは「顔の見える関係」づくりに大きな貢献をしていると考え、今年交流部会が発足したことを受け、交流部会の助成が行えないものか模索して参りました。

このたび役員会において、試験的取り組みとして産地交流イベントに対する助成が承認されました。

- ① 産地交流イベント終了後の申請により参加消費者会員ひとりあたり500円を上限とし、かかった費用の助成を行なう。
- ② 助成対象期間は本年3月まで遡り12月までの10ヶ月とする。
- ③ 今会報に同封の申請フォーマットにより申請→助成を行なう。

この助成制度は一旦、本年12月までの実施分の内容を事務局にてとりまとめ、翌年に向けて修正し再提案してまいります。交流イベントへのよりよい関わりのために多くのご意見・ご提案をお待ちしております。

(島田)

■欧州オーガニック畜産視察旅行

8月より畜産会員の皆様にご案内を開始しました「欧州オーガニック畜産視察旅行」。10月20日(日)出発、デンマーク、ドイツの有機畜産の先進事例を視察し、イタリアではスローフード協会の主催する2年に1度のイベント「サローネ・デル・グスト」を巡ります。(帰国は10月28日(月))申込締切は9月20日(金)、事務局必着。お問合せは事務局鈴木まで。

Radix Milestone

・・・活動短報・・・

2002年7月

- 3 Radix News Letter 14号発送
- 5 食品部会お魚会議“関東・中国”(東京)
- 5・6 作物別技術交流集会|スイカ(奈良)
- 7 農産部会中部ブロック自主基準会議(名古屋)
- 12・13 作物別技術交流集会|和梨(熊本)
- 13 農産部会九州ブロック自主基準会議(熊本)
- 16 第13回Radixの会役員会(台風の影響により中止)
- 18 農産部会パソコン教室(横浜)
- 19 食品部会お魚会議“中部・関西”(東京)
- 19 IFOAMオーガニックフォーラム2002有機畜産事情第2回(東京)
- 19・20 農産部会関東ブロック自主基準会議(東京・埼玉)
- 26・27 作物別技術交流集会|りんご(青森)
- 28 農産部会東北ブロック自主基準会議(宮城)
- 30 第13回役員会議案討議(東京)

後記

7月、米国サウスダコタ州にあるネイティブアメリカンの居留地で過ごした一週間はさまざまな気づきをもたらしてくれました。合衆国政府により生活風習、信仰心、言葉までも奪われた彼らは、未だ差別や貧困、薬物中毒や犯罪に苦しみながらも、自分たちの文化・伝統を思い出し次世代へ伝えていこうとしています。それははずたずたにされた自尊心を取り戻す旅でもあるようです。外来の文化を自身に融合進化させることに長けていた日本。それは現在さらに加速しています。けれどもこれまでと違うのは常に核となった神秘なる自然への想いが抜けていること。かつての言葉や文化を思い出し次世代へ伝えることは日本人だという自尊心を持つることになる気がします。(島田)

Radix News Letter

16号2002年8月30日発行
らでいっしゅぼーや環境保全型生産者団体
Radixの会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル別館2F
TEL 03-5470-7652 FAX 03-5470-7634
E-MAIL office@radix-jp.org

Radixの会についてのお問い合わせは事務局までお願いいたします。

次号は9月下旬発行の予定です